

# 感染症情報 3月2日～8日

府下小児科197医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	595例(堺市	26例)
②溶連菌感染症	432例(堺市	58例)
③RSウイルス感染症	78例(堺市	4例)
④咽頭結膜熱	59例(堺市	4例)
⑤水痘	58例(堺市	2例)

府下インフルエンザ定点300医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 2,197例(堺市 261例)

が報告された。感染症報告数は前週比5.4%減の1,329件であった。

感染性胃腸炎は府下で前週と比較して15%減、堺市では32%減であった。溶連菌感染症は府下で4%増、堺市で56例→58例の4%増で、定点当たり2.95→3.05であった。RSウイルス感染症は府下で20%増、堺市で前週と今回同数の4例であった。咽頭結膜熱が府下で7%増、堺市で7例→4例であった。水痘が府下で6%減、堺市で6例→2例であった。

インフルエンザの2,197例は25%減、定点当たりは9.80→7.32であった。堺市は261例で22%減、定点当たりは11.48→9.00で警報レベル終息基準値10を下回った。

新型コロナウイルス対策による全公立小中閉鎖中のため、インフルエンザによる学年閉鎖や学級閉鎖情報の公開は停止されている。

**指定感染症:**大阪府下の新型コロナウイルス感染症は3月2日から8日までに51例増えて、累計55例となった。堺市では40検査中、3例が陽性であった。

麻疹や風疹の報告はなかった。

2月24日～3月1日分の溶連菌感染症について本文中の誤)堺市で86例→65例の24%減で正)堺市で86例→56例の35%減で に訂正します。